

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 合志市社協「れんがの家」		
○保護者評価実施期間	2024年11月16日 ～ 2024年12月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2024年11月16日 ～ 2024年11月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年齢、発達に合わせた支援プログラム策定、支援の提供	・相談支援専門員、保育園、園等関係機関との連携を図り、児発管、担当職員が、療育参観、親子面談、親子れんがの機会を通して、本人、家族に寄り添ったニーズの把握に努めている。	・こども、家族からより具体的なニーズの把握ができるように、家庭、園等への訪問の充実を図っていく。 ・個別支援会議、ミーティングの充実化、内外研修への参加が、全職員できるよう調整を行い、専門性向上に努めている。
2	・地域との関わりを持った地域連携、地域移行支援	・コロナ禍以降、再開されつつある法人内外の行事へ参加・参画し、地域交流の場を設ける事で、地域社会への参加やインクルージョンの推進を図り、法人内外の連携に努めている。	・社会福祉協議会の強みを生かし、地域住民と共に、地域に開かれた事業運営に取り組んでいく。 ・こども、家族の意向を確認し、関係機関と今後も連携し、地域で安心、安全な育ちができるように努めていく。
3	・ICT(連絡帳アプリ等)を活用した家族への情報発信	・アプリを活用した連絡帳には、当日の活動の様子の写真を添付し、即日、こどもの様子を共有している。 ・園とも連携を図れるように、送迎時には様子を具体的に伝えている。 ・迅速に伝えたい内容があれば、公式LINEを活用している。	・ご家族とのコミュニケーションツールとしても、連絡帳内容の充実を図っていき、こどもさんの成長をより丁寧に伝えていけるように努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の外部研修への参加	・必要な基準で職員を配置しているが、職員に余裕がなく、スキルアップの為に研修に、全職員参加させる事ができなかった。法人内の課題でもあり、支援の質の向上の為にも、職員が研修に参加する時間を確保する為には、余裕を持った人材確保が必要と思われる。	・こども、保護者の満足度を得る為にも、安心、安全な環境で支援を提供した上で、職員のスキル向上、モチベーション向上につながる研修参加ができるように、法人内で今後も検討を重ねていく。
2	・家族支援	・土曜日の開所時、親子れんが、療育参観、親子面談の機会を設けているが、就労状況で参加できない家族もいる。 ・園、事業所では、本人の特性にあった支援の提供ができてはいるが、保護者が自宅での関わり方で苦慮している部分へのアプローチが不足している。	・親子面談、療育参観、家庭訪問等を通して、丁寧に聞き取りを行い、こども、保護者の困り感に寄り添った相談支援、学びの機会を設け、家族自身のエンパワメントに働きかけを行っていく。 ・発達障がい支援センター、児童発達支援センター等が開催する家族向けの研修、ペアレントトレーニング等を発信していく。 ・職員も上記の研修に参加、参画することで、個別支援の強化、地域の療育体制の強化につなげていく。
3	・施設環境	・家庭的な雰囲気を持つ民家を活用している。しかし、構造化しにくい場所もあるので、随時、他事業にも協力を依頼し、個々のニーズに沿って、常に職員全員で安全に活動できる環境設定、プログラム内容の工夫をしている。	・安全計画を元に、危険箇所がないかの定期点検、訓練を計画的に行っていく。また、迅速なヒヤリハットの検証を行う事で、こども、家族が安心、安全に利用できる空間になるように努めていく。 ・職員の視野も広がるように、専門的支援研修に参加することで、職員の強みへとつなげていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 合志市社協「れんがの家」

公表日 令和7年3月27日

利用児童数 35名

回収数 29名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1	0	1	・もう少し、野外活動を入れて欲しい。 ・環境が整っていて、スペースも確保されていると思います。 ・なかなか参加できない。	・年間活動計画でも季節行事（初詣等）、地域支援（野外活動含む）を取り入れ、こどもの個々の特性、当日の体調、感染対策を考慮し、活動内容を計画、支援を実践していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	3	・それぞれの専門分野の先生から、たくさん相談のアドバイスやご助言を頂いています。	・指定基準に加え、専門的支援、加配職員の配置を行っています。保育士、作業療法士、看護師、社会福祉士等の資格保有者による多職種連携支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	0	0	2	・とても過ごしやすい環境と思います。	・他事業との共有スペースを活用し、個々のプログラムに応じた環境調整を行っています。 ・安全計画をもとに、定期点検、訓練を行い、こどもが安全、安心して過ごせるような空間になるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	0	・活動に応じて、パーティションで仕切ったり、数分ずつに分けるなど、活動に応じて配慮されていると思います。	・センター内感染予防対策委員会が牽引して定期研修を行っています。また、流行している感染症の状況を確認し、委員会が率先して対策を行う事で、感染症まん延予防に努めています。 ・午前、午後療育終了ごとに、玩具等の消毒、室内清掃を行っています。 ・常に、職員全員で、こどもの特性に応じた環境設定の検討に努めています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	2	・こどもが疑問に思った事、質問も聞き逃さずに、回答、指導をしていると思います。 ・個別の時間を作り、より細かい支援をしていると感じます。	・事業所内企画の親子れんが、療育参観、親子面談等の機会を持ち、こども、保護者のニーズの把握に努めています。 ・相談支援専門員と連携を図り、児発管、担当職員が把握した内容を元に、個別支援会議で、職員全体で支援内容を検討していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	0	・合っていると思います。	・令和6年度報酬改定で示された個々のニーズに応じて「本人支援」、「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を総合的に提供していくものに加え、「本人支援」は、5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の視点等でアセスメントを行い、オーダーメイド支援を提供しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	2	・もう少し、親、こどもに対して向き合い方を考えて欲しい。 ・親の話も聞き、それに沿っても成長過程やねらいを立てた上で、作成していると思います。	・担当者会議、モニタリング、保護者との面談、家庭訪問の機会を設け、こどもの困り感、現在のニーズ、課題把握をし、児発管、担当職員、家族協働で計画作成を行い、こども、家族に寄り添った支援を行っています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	1	・それぞれに合わせた指導案になっていると思います。	・乳幼児発達スケール、JSI-Rを利用し、児発管・保育士・作業療法士等が多面的に関り、アセスメントを行っています。個々の課題分析、目標、家族のニーズに合わせた支援内容を策定し、個別支援計画を児発管が作成しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	0	0	0	・個々に合わせて、ねんみつに詳しく細かく計画案が立てられていると思います。	・活動の目的が個別支援計画に沿っているのか、モニタリング時期に限らず、支援前の会議では、目的の確認、支援後の振り返り、個別支援会議の機会を設け、職員全体で、こどもさんの発達の確認を行い、次の支援につなげています。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事にも参加させてもらい、親子共々とても良い刺激や貴重な体験、経験を沢山させてもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事計画を元に、事業所職員のみならず、地域ボランティアとの関り、地域行事への参加を企画しています。 ・活動が固定化しないように、職員一同で支援内容の立案をしており、ステップアップ研修にも参加しています。 ・今年度も外部講師、歯科教室も行いました。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	1	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの刺激や関りも沢山経験させてもらっています。 ・あまり参加できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援として、こどもさんが安全に、安心して参加できるように努め、社会福祉協議会年間行事にも参画していきます。 ・家族支援（きょうだい児支援）としても、保護者面談を通して、参加できる行事の立案に努めていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度説明してもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、毎年度はじめ、障害福祉サービス報酬改定時は、契約書、重要事項説明書の説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・成長に合わせてワンランクあげてみたり、現状維持の継続、様子をみて、よりそっていていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の説明は、保護者面談、就労状況も考慮して、自宅訪問行い、説明、同意署名を頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・親も楽しく行事参加させてもらって、子育ての勉強になります。 ・療育先、保育園等では可能な限り、本人の特性に寄り添った支援が比較的できていると思うが、自宅での対応がなかなか難しく、もう少しこどもと参加できるプログラムがあればいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、親子れんが、親子面談、療育参観等を計画し、家族に対する支援場面を通じた学びの機会を作っています。 ・職員のスキルアップを行い、こどもの発達状況や、特性の理解に向けた相談援助を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・密に話を聞いていただき、その都度適切な対応してもらい、とても安心しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEを活用し、必要な情報発信は今後も行っています。 ・アプリを活用した連絡帳で、写真添付、その日の活動の様子をお伝えしていきます。相談事があれば、即時お話ができるように努めています。また、送迎時には、園との連携も図っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・親ともとても親身になって向き合ってもらっています。子育ての中の日常生活の困った事も聞いて助言してもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談、自宅訪問等を通して、定期的面談を実施していきます。適切な助言ができるように、職員のスキルアップ向上につながるような研修実施、参加も行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> こどもにも、親にも寄りそってもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、こども、保護者に対して丁寧に接する事で、寄り添える支援を心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての情報交換等、視野の広がりや選択肢が増え、とても勉強になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の機会ができるように、保護者会、親子れんが等の企画をします。社会福祉協議会内の企画も活用し、きょうだい同士の交流の場、相談援助を行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度聞いてもらい、不安を取り除いてくれるように、努めてくれていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談は迅速に受け止め、管理者、児発管にて対応に努めています。必要に応じて、相談支援専門員、他の専門機関につなぐ等、問題解決に努めています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳アプリを活用させていただいております。職員間でも、もれなく情報共有ができるように、環境設定を行っています。 	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回「れんがだより」を発行しています。日頃様子、イベント等の様子をお伝えしていますが、内容の充実に努めています。 ・連絡帳アプリで、活動の様子を写真添付して伝えています。 ・合志市社会福祉協議会では、毎月「ほっとライン」を発行しています。社協に関するお知らせや、「れんがの家」他の事業の様子も掲載している時もあります。 ・自己評価の結果は、年度はじめ事業説明会で報告させていただきますが、合志市社協ホームページにも掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭に「個人情報取り扱い業務説明書」に基づいて、契約時、年度初め保護者説明会にて、説明と同意をいただいています。 ・職員全員が丁寧に個人情報の取り扱いができるように、安全管理委員会が牽引し、職員研修を年1回以上開催しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・れんがの家では、安全計画を作成しています。安全、防災、感染、権利擁護委員会によるマニュアルの整備を行い、年2回以上に委員会会議、1回以上の職員向けの研修を実施する事で、子ども、家族が安心、安全に利用できるような努めています。 ・安全計画については、契約時、年度初めに保護者説明を行い、訓練時は、連絡帳アプリ、公式LINE等で発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・れんがの家では、他事業とも施設を共有しておりますので、協働して訓練を行っています。今年度も、火災、地震、不審者訓練を行いました。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用していたことが今わかりました。 ・れんがの家では、安全計画を策定しています。内容については、毎年度見直しを行っています。安全、防災、感染、権利擁護委員会によるマニュアルの整備、年2回以上の委員会会議、1回以上の職員向けの研修に併せて、各事業ごとでも、子ども、家族が安心、安全に利用できるような安全計画策定に努めていきます。 ・れんがの取り組みについて、れんが便り、公式LINE、連絡帳アプリを活用し、子ども、家族にわかりやすいよう発信できるように努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我や事故を事業所で起こしたことがないのでわからない。 ・れんがの家「重大事故防止マニュアル」を策定しています。職員がいつでも手にとり確認できる環境設定している事で、今後も、子ども、家族が安心して利用していただけるように努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日の帰りの車内で、活動していたことや、その時の様子を話してくれています。 ・本人の行滞りがあっても丁寧に支援してもらっています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日の朝から元気で、楽しく通ってくれています。 ・保育園より楽しいみたいです。 ・毎回、利用日は、楽しそうに保育園に行ってくれます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中、保護者アンケートに協力いただき、ありがとうございました。保護者からの貴重なご意見をもとに、職員一同で振り返り、今後もより良い支援が出来るように、職員の資質向上に努めていきます。 ・今後も、ご意見、ご要望がありましたら、遠慮なく発信していただくように、お願いいたします。

- ・ 子どもの成長と一緒に見守り、ご指導いただきいつもありがとうございます。保護者の気持ちなどへの配慮や親身に寄り添ってくださってとても心強く、救われ、助かっています。本当にありがとうございます。
- ・ いつもお世話になっています。毎日楽しそうに行っているのも、それだけでありがたいです。
- ・ いつもお世話になっています。これからもよろしく願います。
いつもお世話になっています。先生方にはいつも細かいところまでみていただいて感謝しております。本人が行きたいと言っているのも本人にとって、安心できる楽しい場所という事だと思います。親の印象も大事ですが、子どもの反応が一番と思っていますので、特に不満はないです。ただ、家庭での特性に特化した取り組みがなかなかできないので、また、細かい相談をしていきたいです。
- ・ 職員の方には、子どもの事を理解しようと、寄り添って関わっていただきありがたいです。これからもお世話になります。
いつもお世話になっています。自分の体の事で、子どもが情緒不安定になる事もあっています。体調が戻れば、親子で積極的に動こうと思っています。それまでは、祖母等のサポートを受けていくので、難しい部分が出てくると思います。利用できない日もあると思いますが、本人が寂しさを紛らわせる事ができるように願います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	合志市社協「れんがの家」		公表日 令和7年3月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・基準スペースは確保できている。民家を活用しているため、家庭的な雰囲気はあがるが、個別性の重視、安全管理対策の工夫をしている。 ・部屋を人数によって分けている。 ・活動内容、スペースを考慮している。	・個別対応が必要な児童に配慮を行う時に、パーティション、マットの工夫をしているが、部屋数がもう少しあれば尚、個別性の重視ができると感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・活動内容により、職員の配置を考えている。	・課題や特性により、支援が多く必要と感じる時もあるので、職員の増員をしてほしい。 ・配置上は適性ではあると思うが、専門的支援を行うには、人材補充が必要と思われる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・民家活用のため、かなり工夫している。情報伝達には、LINE、アプリを活用している。 ・グループ別に写真の提示を行っている。 ・安全面を第一に考えながら、構造化を意識した環境調整を可能な限り行っている。	・動線が交差しているため、パーティション等を利用しているが、思うようにならないことが多い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・清掃、消毒には気を配っている。 ・活動終了ごとに、室内清掃、玩具消毒を行っている。 ・日々の清掃から衛生面に配慮し、気づきは職員間で共有し改善できるように努力している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・子どもの特性に応じた環境設定を行っている。	限られたスペースであるため、パーティションを活用しているが、同室の他児が視界に入り、別室等に分けるだけのスペースと、職員が足りない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・療育開始前のミーティング、申し送りノートを活用し、情報共有をしている。 ・個別支援会議に参加できない職員の為、議事録を残し、回覧共有に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者会、保護者面談等で、意向の確認を行っている。 ・評価結果を踏まえて、全職員で改善策を考える機会を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員ミーティングを定期的に行い、週案作成も全職員で行っている。 ・職員が意見を出しやすい場作りを心がけ、気づきは改善できるように努めている。(ヒヤリハット、虐待防止等の記録も心がけている。)	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・今後計画予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・内外部の職員研修参加の希望を募り、全職員がそれぞれの強みで参加できるようにしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・パンフレット、ホームページに公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	・アセスメントツールを活用して評価を行い、個別支援会議等で共有することで、個別支援計画を作成できている。	・支援会議の内容共有については、改めて時間が取れない時がある。 ・職員のスキルの違いがあるので、計画作成にあたっての格差が生じていると思われる。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・全職員参加の個別支援会議を定期的に行い、検討し取り組んでいる。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・支援時には、常に確認できるように、環境設定している。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・フォーマル、インフォーマルなアセスメントを実施し、考察している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・グループ化し、支援プログラムの作成を行っている。 ・週案の実施。	・職員で検討、共有はしているが、尚活発な意見交換が必要と考える。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・日々のミーティングや、支援時間の合間に、具体的内容について共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・支援後の振り返りを毎日行い、当日不在の職員にもわかるように、視えるかしている。 ・時間が取りにくいので、ノートを活用して、情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達管理責任者と、可能な限り担当の参加も行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・事業所間での情報交換、就学に向けた支援も行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センター主催の研修に参加し、機会があるごとに助言をもらっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・地域行事への参加を企画している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・日々の連絡帳、親子れんが、面談、療育参観後の懇親会等の機会を頻りに作るように努力している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時、毎年度の事業説明会でやっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・家庭訪問も、保護者に推進し、積極的に行った。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・毎年度、イベント、特別企画、行事等でも、保護者に確認をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・行事等に、ボランティア参加を依頼している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		